

どがなかな 木田市です!

大田市ふるさと情報誌

VOL.37

2017.10



「石見銀山遺跡とその文化的景観」は
2017年7月2日で

世界遺産登録10周年を迎えました!





蔵を改修した作業場にて

東京から Iターン 鉄道模型職人 和田亮二さん



楽しそうに運転する子どもたちと操作を教える和田さん

全国各地の空き家情報を収集するうちに、大田市定住PRサイト「どがどが」で見つけた家が大田市大代町の蔵付の物件でした。当初より蔵付の物件を探していた和田さんは、この空き家に心を惹かれ、実際に大田市を訪れました。その後、東京と大田市を行き来しながら、移住の準備を進めていきました。

そしてついに心惹かれた蔵付の空き家を購入。トイレや床などを改修して入居し、お気に入りの蔵は作業場として生まれ変わりました。

和田さんが作成した模型が雑誌の表紙を飾ることもありました。

東京ではマンションに住んでおり、制作活動には手狭なスペースで作業をしていました。「ゆったりとした空間で活動し、スロウライフを満喫したい」と思い、和田さんは移住を考えはじめました。

和田亮二さんは平成28年8月に東京よりIターンしました。

東京では、鉄道模型の制作にかかわる仕事を20年以上しており、業界では有名な鉄道模型職人。

ゆったりとした空間で
スロウライフを満喫したい



空き家バンク制度

大田市では定住希望者へ空き家情報を提供し、定住促進を図っています。
 空き家紹介は「おおだ定住支援センター」(大田市役所定住推進課内)で行っています。
 空き家情報は「大田市定住 PR サイト「どがどが」」に掲載しています。

空き家バンクで住まい探しのはじめ方

- STEP 1 定住サイト「どがどが」で気になる空き家を探す
- STEP 2 「おおだ定住支援センター」へ問い合わせ
- STEP 3 実際に空き家を見学
- STEP 4 気に入ったら申込&契約

※大田宅建センターの仲介(有料)による契約

↓大田市内に活用できる空き家をお持ちの方からのご相談もお待ちしております↓

【お問い合わせ先】 おおだ定住支援センター(大田市役所定住推進課内) ☎0854-83-8029

大田市定住PRサイト [どがどが](#)



空き家活用促進事業

UIターンで大田市に定住される方、または空き家の所有者等が「大田市空き家バンク制度」に登録のある空き家を改修する場合の改修費と残存家財の処分費の一部を助成します!

【補助対象者】

1. 定住の意思を持って居住するUIターナー者(既に大田市に転入している場合は、補助金の交付申請時に転入してから180日を経過していない者)
2. 空き家の所有者、地域自主組織、自治会等、又はNPO法人(上記1に該当する者を入居させる場合に限る)

◆着工前に事前に申請が必要です◆

区分	補助対象経費	補助率	適用
改修	空き家の改修に要する経費 (ただし50万円以上であること)	対象経費の 2分の1以内	上限100万円
残存家財の処分	空き家の残存家財の処分に要する経費 (ただし5万円以上であること)		上限15万円

※補助対象経費は、消費税及び他の補助制度による補助金等の額を除いた額です。

※空き家所有者が売買希望の場合は家財の処分のみ対象です。

※改修及び残存家財の処分を代行業者に委託する場合は、大田市内に事務所を有する法人または個人事業者が行うものであること。

この他にも別途要件があります。また予算の範囲内での助成となり、予算がなくなり次第、終了となります。

詳細は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 大田市役所定住推進課 ☎0854-83-8029

作業場には、修理やグレードアップなど、さまざまな依頼に応えるため、たくさんの道具が並んでおり、お客様の要望にできる限り対応したいという和田さんの思いが伝わってきます。

鉄道模型の楽しさを知ってもらいたい

「子どもたちの遊びが昔と変わってきている。TVゲームやタブレットなどで遊ぶことが増え、鉄道模型に触れる機会がない子どもがたくさんいる」と話す和田さん。たくさんの人に、鉄道模型の楽しさを知ってもらいたいと考えています。子どもたちに鉄道模型に触れてもらう機会をつくるため、地域の文化祭などのイベントで、鉄道模型を走らせてもらえないかというお願いも快く引き受けています。

鉄道模型のイベントでは、見ることしかできないことも多い中、和田さんは「見ただけでは記憶に残らない。実際に触れて、運転してもらおうことで楽しい思い出にかわる」と話します。

そんな和田さんの活動は新聞でも取り上げられ、大田市内にとどまらず、近隣の町からもイベント参加の依頼が入ります。

8月26日に行われた「ごうつホビー祭り」では、実家に眠っていた60年前の古い模型のモーターを取り替えるなどの修理をして参加。当日はたくさんの子どもたちが運転手気分て模型を動かしていました。鉄道模型にはじめて触れる子どもも多く、興味津々で楽しそうに遊ぶ子どもたちに、和田さんも目を細めていました。

焼肉 三麗

☎0854-82-7426

住 所 〒694-0064

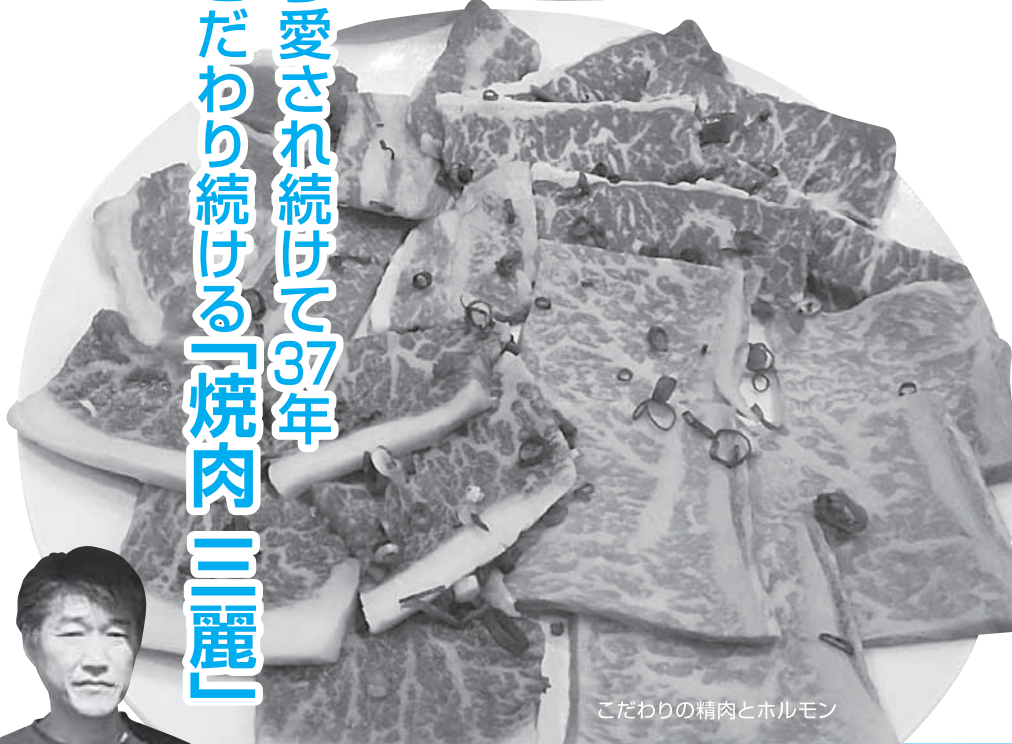
大田市大田町大田口1209-2

営業時間 AM11:00~PM10:00

定 休 日 毎週火曜日、年末年始等



地元から愛され続けて37年
食材にこだわり続ける「焼肉 三麗」



こだわりの精肉とホルモン



杉谷勝彦さん

焼肉屋の息子が大阪で修行して
Uターンするまで

大田市で生まれ育った杉谷勝彦さんは、18歳で地元を離れ、大阪で就職しました。大阪では、飲食店や型枠工など様々な職種を経験。大阪で暮らしていても、大田市に住む両親のことを忘れたことはありません。

杉谷さんの両親は、37年間にわたり「焼肉 三麗」を営んできました。地元の方から愛されて営業してきた「焼肉 三麗」は杉谷さんにとっても誇りであり、ずっと続けていくと欲しいと願っていました。しかし、年齢を重ねていく両親の姿を見て、10年ほど前から「焼肉 三麗」を継ぐことを意識するようになり、大阪の焼肉屋で修行を始めました。「修行した焼肉屋は、提供する部位が豊富でホルモンだけでも50種類くらいあった。部位の種類は日本一だと思う。そこで働くことで、とても勉強になった」と杉谷さんは話します。また10年間の修行の中で、店長として、店舗を経営するためのマネージメントも学び、着実に承継に向けた準備を進めてきました。

そんな杉谷さんは、今年2月に大田市へ帰郷し、リニューアルオープンに向けて動き出しました。

三麗らしさを受け継ぎながら
リニューアルオープン

帰郷した杉谷さんは、まずは「三麗らしさ」を学ぶことが大切と考え、約4ヶ月間、両親とともに厨房に立ちました。接客や料理の提供方法をはじめ、両親の「焼肉 三麗」に対する思いも学びました。

また店舗の老朽化が激しいことから、レイアウトの変更や壁紙・畳の張り替えを行い、今年7月3日

杉谷さんも活用した 「ふるさと大田創業支援事業」を ご紹介します!!

大田市内で空き店舗等を利用して起業・創業をされる方や、事業承継される方に対して、その経費の一部を補助します。

《補助対象者》

大田市内の賑わい創出や商業活性化につながる小売業・飲食業・サービス業等を、空き店舗や取得した店舗等を利用して実施される方、又は事業承継により実施される方。ただし、市税等を滞納していない方に限ります。

《補助対象事業等》

- ①改修費、建築費、建物取得費、備品購入費
- ②家賃、広告宣伝費

《補助率》

- ①2分の1以内
- ②3分の2以内（家賃は原則1年間）

《限度額》

- ①・②合わせて150万円
（家賃は月額8万3千円が上限）
- ※申請には商工会議所・商工会の推薦が必要です。必ず事前にご相談ください。
- ※予算の範囲内で補助します。

【お問い合わせ先】

大田市役所産業企画課産業支援係
TEL:0854-83-8073
E-mail:o-brand@iwamigin.jp



畳ならではの温かみある空間



自慢のロース定食

に新しい「焼肉三麗」に生まれ変わりました。
「店舗自体は大きく変わっていないが、畳の部屋を
広くした。座敷だと温かみがある。横になる人もい
たりして、お客さんが自由にワイワイできる空間。
それが三麗の昔からの良さだと思う。また、メニュー
は変えていない。両親は37年間この場所ので元の方
から愛されて営業してきた。それを代表が変わった
からといって急に変えることはできない」と杉谷さ
んは話します。

受け継がれる三麗のこだわり

「地域の食材を利用し、できるだけ安く、美味しい
ものを提供する」という両親のこだわりを引き継ぐ
杉谷さん。徹底して鳥根県産にこだわり、精肉はし
まね和牛を提供し、米や野菜なども可能な限り地元
食材を使っています。

「いいものを提供しているからこそ、地域の方に愛
され、37年間も続けられている。特にロースは店の
一押しメニュー」と自信たっぷりに杉谷さんは話し
ます。

今後の抱負

三麗らしさを受け継ぎながら、少しずつ、変化も
加えていきたいと杉谷さんは考えています。

「大阪の店舗で働いた経験を生かし、大田の人が食
べたことのないような様々な部位も提供していきたく
い。たくさんの人にこんな部位があるのだと知って
もらい、喜んでもらいたい」と熱く語ります。

リニューアルオープンした「焼肉三麗」に是非、
足を運んでみてください。

石見銀山遺跡とその文化的景観

「石見銀山遺跡」は、前近代に比重をおく銀鉱山遺跡であり、本格的な操業期間が16世紀、戦国時代から1923年（大正12）までの約400年にわたります。

産業遺産としての構成要件である生産から流通、消費までの段階の中にあつて、生産現地である鉱山そのものから流通の前半である積み出し港まで、その全体像を包括的によく残しており、さらに鉱山に伴って形成、或いは発展した鉱山町や陣屋町、港町の暮らしがその周囲の自然や遺跡と調和して今日に継続しています。

こうした鉱山遺跡の全体像が交流と技術、また環境に負荷をかけることの少ないアジア的な鉱山遺跡の顕著な保存例として、第31回ユネスコ世界遺産委員会において、平成19年7月2日「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産へ登録されました。日本国内では14件目、鉱山遺跡としてはアジア初の世界遺産です。

龍源寺間歩

代官所経営の五ヶ山の一つです。間歩は600以上あるといわれ、壁面に残ったノミの跡が、当手を物語っています。

- 大田市大森町二183
- 大人410円 小人200円
- 年末年始休
- 9:00~17:00(冬期は16:00まで)
- Tel 0854-89-0347



石見銀山世界遺産センター

石見銀山の歴史と技術を紹介する展示や、最新の調査結果を公開しています。

- 大田市大森町イ1597-3
- 大人300円 小人150円
- 毎月最終火曜日、年末年始休
- 9:00~17:30
- (冬期は17:00まで)
- Tel 0854-89-0183



国指定重要文化財 熊谷家住宅

石見銀山とともに栄えた商家。銀山経営のほか、酒造りなども営んでいました。

- 大田市大森町ハ63
- 大人500円 小人100円
- 毎月最終火曜日、年末年始休
- 9:30~17:00
- Tel 0854-89-9003



納館 世界遺産センターサテライト施設

集落の古民家を整備した施設。納ヶ浦の港湾や銀山街道を紹介しています。

- 大田市仁摩町馬路205
- 観覧無料
- 12月~翌2月休
- 9:00~17:00
- Tel 0854-88-3450



祝 10周年



7月2日に世界遺産登録10周年を迎えました

平成29年7月2日に世界遺産登録10周年を迎え、各地で様々なイベントが行われました。

ぎんざんカフェ

重要文化財熊谷家住宅で遡摩高校生による1日限りの限定カフェ。フレンチトーストをメインにした特製スイーツプレートは、きれいに盛り付けられ、お客様から大好評でした。また記念式典ではプロジェクトの報告発表もありました。



世界遺産登録10周年記念式典

多くの市民、来賓の方をはじめ、サプライズゲストとして、EXILEのAKIRAさんと映画「たたら侍」の錦織良成監督が登場し、「石見銀山が次の10年、そして100年と続いていくよう多くの人にその魅力を伝えていきたい」と熱くエールを送りました。



オペラ石見銀山

石見神楽を融合させた創作オペラが、7月2日に大田(昼夜2回)、9月25日には東京の新国立劇場で上演されました。大田市ゆかりのオペラ歌手、大屋神楽社中や市民合唱団も出演し、3回の公演はいずれも満席。「ブラボー！」の声はやまぬ大盛況の舞台となりました。



手作り提灯行列

大森町の皆さんが中心となって開催された提灯行列。世界遺産登録日に行ってから10年ぶりの復活。威勢のよい太鼓や鐘の音とともに約400人が大森の町並みを練り歩きました。



世界遺産登録までの経緯とその後

昭和32年 大森町文化財保存会設立
 昭和44年 日本初の鉱山遺跡として国史跡指定
 昭和62年 大森の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
 平成元年 龍源寺間歩整備公開開始
 平成7年 島根県知事が世界遺産登録を目指して検討を進める意向を表明
 平成13年 世界遺産暫定リスト搭載
 平成16年 温泉津の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
 平成18年 国からユネスコの世界遺産センターへ提出された推薦書が正式に受理

平成18年 重要文化財熊谷家住宅の公開開始
 平成19年 第31回世界遺産委員会で登録が決定
 石見銀山世界遺産センターのガイダンス棟開所
 平成20年 石見銀山基金への募金活動開始
 石見銀山世界遺産センターがフルオープン
 街道(温泉津沖泊道、鞆ヶ浦道)国史跡追加指定
 大久保間歩一般(限定)公開開始
 平成21年 文化庁が資産範囲の拡大の方針を表明
 平成22年 第34回世界遺産委員会で資産範囲の拡大を承認
 平成24年 世界遺産センターサテライト施設(鞆館)開館
 平成29年 大久保間歩公開区域拡大(福石場)

石見銀山遺跡最大級の坑道跡「大久保間歩」7月より公開拡大!

大久保間歩予約センター
 (株式会社石見観光大田営業所内)
 ☎085418410750

大久保間歩一般公開限定ツアー概要
 料金 大人4000円 / 小中学生3000円
 日程 毎週金・土・日・祝日、盆期間
 (12月・2月は、ツアー休止します)
 所要時間 約2時間30分程度
 要予約 (当日も空席があれば参加可)
 ※詳細についてはお問い合わせください。
【お問い合わせ】

大久保間歩は、これまで全長約900メートルのうち、入り口から約160メートル区間を公開していましたが、世界遺産登録10周年にあわせて公開区域の拡大整備工事を進めてきました。
 拡大整備工事により、これまでの公開区域から、さらに約15メートル奥の高品質な銀鉱石「福石」の採掘場跡、「福石場」(高さ約20メートル、広さ約200平方メートル)の見学が可能になりました。
 これまで、福石場は近くに豎坑(垂直方向に掘れた坑道)などがあり、安全面を考慮して公開されていませんでしたが、拡大整備で落石を防ぐ金属製の柵を設けて、豎坑を通過できる経路を整備し、その先に高さ約10メートルの上り階段を設置し、採掘場跡まで進めるようになりました。
 福石場の見学には、「大久保間歩一般公開限定ツアー」への参加が必要です。大久保間歩一般公開限定ツアーは、長靴、ヘッドライトの装備で入坑する探検さながらの限定ツアー。夏でも10℃程度の坑内に一歩、足を踏み入れると、そこは真っ暗な当時の採掘現場でドキドキ・ワクワク感を掻き立てます。

しまねUターン・ターンフェア・相談会に 大田市も参加しています!



資料コーナー



参加スタッフ集合写真

【お問い合わせ先】
大田市役所定住推進課
08054-83-8029

島根県と（公財）ふるさと島根定住財団が主催するしまねUターン・ターンフェア・相談会に大田市も参加しています。

ふるさと島根定住財団、各市町村をはじめ、企業ブースや県内高校などの教育ブース、Uターンの先輩ブースなどの様々なブースにたくさんの方が訪れます。

大田市ブースでは、住まいや仕事などの移住相談、また空き家所有者からの空き家売りたい、貸したいなどの活用の相談も受け付けています。

東京、大阪、広島会場があり、平成28年度は累計で、149名が大田市ブースを訪れました。具体的な移住の相談をしたい人から、まずは情報収集をしたい人までどなたでも大歓迎です。皆様のお越しをお待ちしています。

またフェア・相談会の参加が難しい場合は、島根県の県外事務所（東京、大阪、広島）の「ふるさと定住・雇用情報コーナー」でもUターンに関する総合的な情報提供や相談を受け付けています。ぜひご利用ください。



大田市の今後の参加予定

しまねUターン・ターンフェア

東京：平成29年11月26日（日）
広島：平成30年1月27日（土）

しまねUターン・ターン相談会

東京：平成30年1月14日（日）
大阪：平成30年2月18日（日）



東京

ふるさと定住・雇用情報コーナー
(最寄駅/地下鉄銀座線・半蔵門線「三越前」駅)



〒103-0022
東京都中央区日本橋室町1-5-3福島ビル1階
「にほんばし島根館」内

ふるさとコーナー
☎0120-60-2357

大阪

ふるさと定住・雇用情報コーナー
(最寄駅/地下鉄谷町線南森町駅)



〒530-0047
大阪府大阪市北区西天満3-13-18島根ビル2階
「島根県大阪事務所」内

ふるさとコーナー
☎0120-70-2357

広島

ふるさと定住・雇用情報コーナー
(最寄駅/広島立町駅)



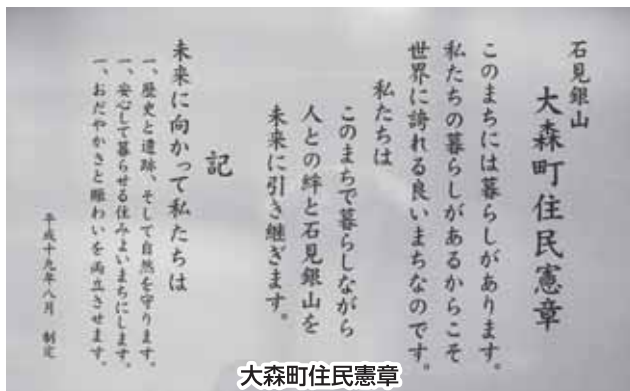
〒730-0032
広島県広島市中区立町1-23こうぎん広島ビル
3階「島根県広島事務所」内

☎0800-1006-435

★相談日、相談時間は各コーナーによって違いますので事前にご連絡されることをおすすめします。

シリーズ 石見銀山³⁷

大森町の町並み保存 —重伝建地区と住民憲章—



大森町住民憲章

大森の町並み

7月2日、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」は登録10周年を迎えました。12月には「大森銀山重要伝統的建造物群保存地区」も選定30周年の節目となります。重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建地区）の制度は、全国各地に残る歴史的な集落・町並みの保存を目的に、文化庁によって昭和50年に創設されました。大森町は昭和62年に全国で26番目に選定され、現在、全国115地区となっています。

江戸時代から昭和初期頃の景観に整備された町並みは、世界遺産の構成要素として、石見銀山を訪れる人々にかつてのようすを垣間みせています。選定以降、地区内では200棟以上の建造物が保存事業により整備されました。加えて、大森地区内の企業等による修理、活用も60棟以上に及び、それらを合わせると、地区内の建造物のおよそ半数近くが修理・修景を完了しています。

町並みが整備されていく一方で、快適性や効率性が求められる現代にあつては、往時の建物に戻すという行為は、時代に逆行する要素もあり、暮らしの方々の中には不便さを感じることもあつたかもしれません。

しかし、大森町民は「大森町住民憲章」を策定し、歴史ある自分たちの町に誇りを持ち、来訪者を受け入れつつも、何より自分たちの「暮らし」を大切にするという町民の意思表明をしたのです。家々の軒下には手入れされた花々が置かれ、夕方には下校途中の子供たちの元気な姿がみられるなど様々な取り組みが功を奏しつつあります。

人口400人足らずの大森町では今、ベビーブームが到来しており、選定30周年を迎え、暮らしを未来に引き継いでいくサイクルが連続と根付きつつあるようです。

【お問い合わせ先】

大田市教育委員会教育部 石見銀山課

☎0854-83-8133



島根県大田市は、ユネスコの「世界平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」保全と活用をすすめています。



おおだ空き家情報

平成29年10月12日現在

貸したい！
売りたい！
空き家情報募集中！

空き家情報はおおだの定住PRサイト「どがどが」でご覧いただくことができます。
おおだ定住支援センター〈大田市役所定住推進課内☎0854-83-8029〉にご相談ください。



温泉津町小浜

賃貸：3.5万円/月

温泉津湾の南側にある物件。駐車場1台込み。ペットの飼育はできません。

【物件番号：160018】



山口町

売買：380万円

三瓶山の北側の麓にある平成2年築の物件。隣接して畑もあります。

【物件番号：140024】

大田市地域力向上プログラム事業

『鳴り砂海岸夕暮れコンサートin琴ヶ浜』を今年も開催しました！

地域の連携やUターン者の協力で地元で活気が溢れています。9月9日、鳴り砂の海岸「琴ヶ浜」(仁摩町馬路)を舞台に、コンサートを開催しました。

このコンサートは、参加者に砂浜のゴミ拾いをしてもらい、その拾ったゴミが入場券になります。

当日は天候に恵まれ、約300人が来場。参加者は綺麗になった砂浜で、沈みゆく夕日をバックに音楽と波音を聴きながら、ゆったりとした楽しい時間を過ごしました。また地元団体などの屋台の出店もあり、たくさんの方が焼き鳥やピザ、ワッフルなどを求めて賑わっていました。屋台の他にも、射的やヨーヨーつりなどの「プチ縁日」も店開きし、子どもたちも楽しんでいました。

また、コンサートの前には、参加者へ環境保全に関心をもってもらうため、主催の琴ヶ浜サンセットライブ実行委員会から「鳴り砂の鳴る仕組み」や「なぜ鳴り砂は汚れると鳴らなくなるのか」等の説明があり、鳴り砂海岸の希少性や環境保全の重要性を発見・再認識してもらいました。

このイベントは、地元仁摩町馬路の若者集団「やっちよこの会」を中心に、琴ヶ浜に興味や愛着のある住民で、「サンセットライブ実行委員会」を立ち上げ、昨年度から実施しています。実行委員会にはUターンしたメンバーもおり、都会で培った経験を活かすことで、地域に新たな活力が生まれています。今後も地域の活性化につながる事業として、実行委員会一同、試行錯誤を重ねながら継続的な開催をしていきます。

地域力向上プログラム事業…大田市ではまちづくり団体等が行う地域の活性化や地域課題解決につながる取り組みを支援しています。今年度は6事業が採択されました。「夕暮れコンサート」もその一つ。



琴ヶ浜…全国でも珍しい「鳴り砂」の浜。砂には丸みを帯びた石英が多く含まれており、歩くと、その石英がこすれあうことで「キュッキュッ」と音がします。10月13日に国の天然記念物に指定されました。

【お問い合わせ先】 琴ヶ浜サンセットライブ実行委員会 (馬路まちづくりセンター内) ☎0854-88-9070

藤原慧選手(大田市出身)が競泳1500m自由形で世界新記録! 金3個・銀4個・銅2個を獲得! (第23回夏季デフリンピック競技大会)

藤原選手の結果

【金メダル】

- 男子400m自由形 (3分57秒90=大会新記録)
- 男子1500m自由形 (15分37秒64=世界新記録)
- 男子400m個人メドレー (4分28秒49=大会新記録)

【銀メダル】

- 男子200mバタフライ
- 男子200m自由形
- 男子4×200メートル自由形リレー
- 男子4×100メートルメドレー

【銅メダル】

- 男子200m個人メドレー
- 男子4×100m自由形リレー

【その他】

- 男子100m自由形 (4位)
- 男子50m自由形 (準決勝1組8位)

大田市波根町出身の藤原慧選手(日本大学4年生)が7月18日~30日に開催された第23回夏季デフリンピック競技大会(トルコ・サムスン)に競泳の日本代表として出場しました。

聴覚障がい者のための総合スポーツ大会「デフリンピック」は、「ろう者」を意味する「Deaf」と「オリンピック(Olympics)」からなる造語で、4年に1度開催されています。





山陰道「朝山・大田道路」が今年度開通予定

早期全線開通が待たれる山陰道は、鳥取・島根・山口三県の日本海沿岸を結ぶ重要な高速道路ネットワークです。島根県内の供用率は約59%と、つながることで利便性も徐々に向上していますが、出雲以西では部分的な開通に留まっている現状です。

大田市内で既に開通している「仁摩・温泉津道路(11.8km)」では、国道9号も含めた開通区間全体で、交通事故の減少、通行止めの時間が短縮されるなど効果が現れています。

そのような中、今年度には「朝山・大田道路(6.3km)」、平成30年度には「多伎・朝山道路(9.0km)」の開通が予定されています。

この区間の国道9号は、急カーブが連続し、交通事故の多発する県内でも有数の交通の難所となっており、山陰道の開通により急カーブや急勾配を回避することで交通事故の削減だけでなく、通行止め時の代替路の確保、輸送や移動時間が短縮され、地域間交流の活性化、地域経済の活性化が期待されます。

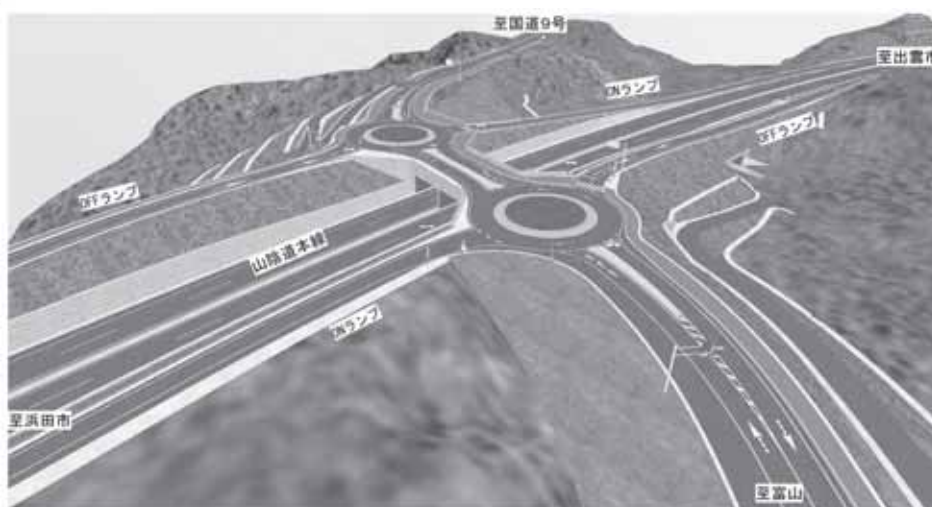
また、国土交通省では近年大きな社会問題となっている高速道路の逆走などを踏まえ、より安全なインターチェンジを目指して、朝山インターチェンジ(仮称)に環状交差点(ラウンドアバウト)を県内で初めて導入することとされました。環状交差点が連続する形は全国初となります。

そのほか市内では、「大田・静間道路(5.0km)」、「静間・仁摩道路(7.9km)」、「福光・浅利道路(6.5km)」で、県内では「出雲・湖陵道路(4.4km)」、「湖陵・多伎道路(4.5km)」、「三隅・益田道路(15.4km)」で着々と整備が進められております。

高速道路はつながってこそ、その効果が最大限発揮できるインフラで、その整備は、地域格差の是正や安心、安全の地域づくりへとつながります。大田市では山陰道の1日も早い全線開通を目指し、引き続き関係機関と連携を図りながら国などに強く要望を行っていきます。



環状交差点



朝山インターチェンジ(仮称)イメージ図

【お問い合わせ先】 大田市役所事業推進課 ☎0854-83-8167

ふるさとは
今

ふうりんおんせん

～夏の疲れをぬる湯で癒そう～

毎年、夏になると、三瓶町志学のまちのあちこちで、約1000個のふうりんの涼やかな音色が聞こえます。

「ふうりんおんせん」は夏の三瓶温泉の魅力づくりとして、地元若者有志により2010年より始まりました。三瓶温泉にある2つの銭湯（鶴の湯・亀の湯）を中心に8月31日まで、地元住民や来場者、観光客の方が絵付けを行ったオリジナル風鈴を飾って温泉街の夏を演出しています。

毎年工夫を重ね、期間中は、手作りの足湯、おんせん卓球大会、ふうりん温泉スライダーなど、楽しいイベントを企画。8回目となる今年も、らとちゃん風鈴との自撮り画像をキャンペーン参加のお店で提示すると、素敵な特典が受けられる「らとちゃんを探せキャンペーン」を実施しました。

また、8月12日には温泉街において「ふうりんおんせん祭り」を開催し、「手持ち花火大会」を行ないました。

来場者が一列に並び手持ち花火で作る花火のアーチ「人間ナイアガラ」は、70メートルにもなり、美しい光の滝が連なりました。

小さなまちの取り組みに、若者の協力が定着してきました。若い力で地域を盛りあげ、来年も風鈴の音色や温泉を楽しみに、一人でも多くの皆さんが三瓶温泉に来ていただけるよう継続したいと考えています。

【お問い合わせ先】
志学まちづくりセンター
0854-83-2167



みんなで花火楽しいね😊



鶴の湯前につくられたふうりんおんせん足湯♨️

大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」が「ゆるキャラグランプリ2017」に出場中！

らとちゃん 投票 検索

投票期間
11月10日まで！
応援よろしくね！



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所政策企画部定住推進課 ☎:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口 1111 番地 E-mail : o-tiiki@iwamigin.jp http://www.city.ohda.lg.jp/
おおだの定住PRサイト「どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/ どがどが 検索

